

futbol y vida

Poco a poco ...
boco y boco ...



2022 夏の武者修行 各フェスティバル終了 !!
選手権一次トーナメント目前 !!

選手権一次トーナメント初戦 VS 八王子東まで、countdown 5.4.3.2.1

武者修行の成果を発揮し、10年ぶりの二次トーナメント進出を目指す!!

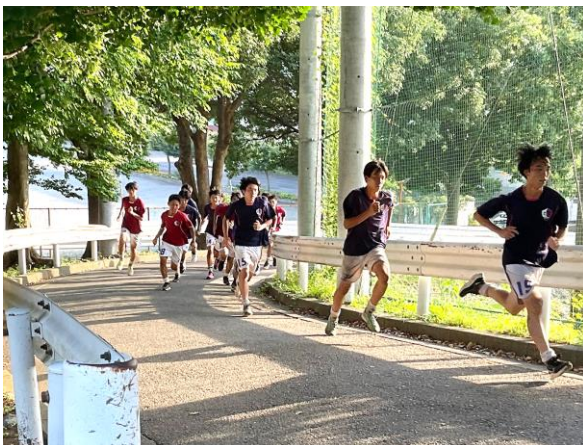
三年ぶりに実施した菅平合宿後、一日のオフを挟んで夏の武者修行に旅立ちました。七月下旬の町田招待試合を皮切りに、湘南フェスティバルに土浦フェスティバル、人工芝グラウンドのチームとのTRMなど、各遠征で徹底的に揉まれながら菅平合宿の成果を確認し、8月27日からスタートする選手権一次トーナメントに向けて準備を進めてきました。

特に今年は猛暑日が続き、涼しい菅平から帰京して暑熱馴化を目的に行われたTRMは、一日を除いて全てAWAYでの過酷で厳しいものでした。「可愛い子には旅をさせよ」の精神ではありませんが、普段は片倉高校グラウンドでTRMをすることが多いのですが、一年に一度この期間だけは積極的に校外に出ることにより、ゲーム以外に学ぶべきことにたくさん気付かされます。特に公共機関を使用する機会が多いのでマナーの遵守を学ぶことは社会性を身に付ける上で大切です。また、礼儀や他校への配慮、荷物の整理整頓、ゴミの後片づけなど何かと気を使います。この夏の武者修行を通して、子どもたちの心身ともに成長した姿が、日々培われたTRや一番きつい菅平合宿を乗り越えることができた自信として見受けられます。厳しい試練を乗り越えた時に、子どもたちは更に磨かれて「逞しい男」に成長し、少しずつ大人に近づいていくのです。



<立ち姿勢で人の真剣さが伝わる>

そして、外に出ると勝手の知らないところで着替えたり準備したり、会場の関係でアップも普段のようにはできないことも多々あります。また、TRMも人工芝や整備の行き届いたグラウンドとは限らず、時にはボコボコのグラウンドや雨でぬかるんで苦勞することもあります。しかし、逆境や試練こそが子どもたちの成長を促すとともにいい経験となるのです。サッカーで起こる理不尽な出来事なんて社会に出たらたいしたことではありません。人生雄々しく生きていくためにこんなことは当たり前やり過ぎさなくてはなりません。高校時代のサッカーへのチャレンジは長い人生を生き抜くための格好の機会と捉えることが必要です。そのために、どのような環境に置かれても普段の力をコンスタントに出せるために日々の練習を全力でしっかりやることです。全ては自分自身の成長のために!!



<いつでも全力で取り組む!! 全て自分のために>

選手権直前の地区ユースリーグは工学院にリベンジし、“初戦突破”に向け弾みを付ける!!

8月20日(土)、地区ユースリーグ第二節工学院高校戦が行われました。周知の通り、工学院高校には先のインターハイ予選代表決定戦で悔しい負け方で都大会出場を逃しているだけに、リーグ戦というよりもリベンジマッチという気持ちの方が強かったように思います。

相手は既に三年生が抜けて新チームに変わっていましたが、選手権初戦の八王子東戦にも繋がるゲームとして臨みました。予想通り相手陣地でのプレー時間帯が長く、ペナルティーエリア内に押し込んだ状況でいかにゴールを奪うかが課題でした。前半は、勢いと強さでゴール前の扉を抉じ開けようと試みましたが結果はノーゴール。後半は、焦れずに闘い、時には優しくそして分かり辛くボールを動かし、そこに勢いと強さをミックスしてゴールを重ねていきました。

この日のゲームでは、夏のトレーニング成果が随所に見られ、攻撃のバリエーションが明らかに増えました。一週間後の選手権初戦に向けて手応えを十分に感じる内容のゲームだったので、この勢いを緩めずに公式戦に向け最終調整をしていきたいと思います。



<地区ユースリーグ VS 工学院 “K’s football style”に拘って、選手権に挑む!!>

“ヴァイ・フリータイム” オーナーから

先日、夏合宿で大変お世話になったフリータイムのオーナー下條さんからご連絡を頂きました。その中で子どもたちの合宿中の生活面についてお褒めの言葉を頂きました。ひとりひとりがしっかりして自己管理できていたことや共有場所(玄関・食堂)の清掃・ゴミの片づけ、お風呂や脱衣場の使い方、トイレのスリッパを並べるなどです。もちろん、合宿中だけでできる訳ではありません。これは、普段学校でも指導していることなので、外に出た時にできるようになって初めて真に身に付いたといえるのではないのでしょうか(ご自宅ではどうですか?)。

評価には、自己評価と他人評価がありますが、日頃から他人から評価されて初めて本物になると子どもたちには伝えていきます。良いところを評価してもらえよう頑張ろうではなく、何事も一生懸命に取り組んでいけば周囲は自然と評価してくれるのです。サッカーだけではなく生活面も学習面(これが一番苦手?)もその瞬間を全力で一生懸命行うこと。今年の菅平合宿ではその経験ができたことは子どもたちのこの先の人生に必ず役立つと信じています。

<After the Game>

早いもので、選手権一次トーナメント初戦 VS 八王子東 (8/27) が間近に迫ってきました。ここ10年以上高体連の大会では都大会出場から遠ざかり低迷期が続いています。先のインターハイでは掴みかけていた都大会が掌から零れる悔しい思いを経験しました。三年生の最後の選手権に懸ける思いは今まで以上に強いと思います。三年間の厳しいトレーニングの積み重ねの成果を今週末の選手権大会で遺憾なく発揮できるよう、残りの TRM と TR で最終確認をして、大会に挑みたいと思います。引き続き、子どもたちのサポートお願い致します!!